

第9回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

■日 時 令和2年1月30日（木）午前10時から午前11時30分

■会 場 府中市役所北庁舎 第3会議室

■出席者 (委員)

諸橋会長、内海副会長、赤羽委員、安藤委員、糸井委員、
今喜寿委員、田中委員、徳原委員、内藤委員、堀井委員、
向井委員、松本委員

(事務局)

堀江市民協働推進部長、田代地域コミュニティ課長、
三浦地域コミュニティ課長補佐、新妻男女共同参画推進係長、
高畑主任

(文化科学研究所)

瀬戸、池田

■欠席者 なし

■傍聴者 なし

■議 事 審議事項

- 1 (1) 府中市男女共同参画の推進についての報告書について
- (2) 令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業について
- 2 その他

■資 料 1 令和2年度府中市男女共同参画の推進についての報告書（案）

- 2 令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業申請一覧

【会長】

定刻になりましたので、第9回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。本日、仕事の関係で11時に途中退席いたします。その後の進行は内海副会長にお願いしております。それでは、事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

【事務局】

本日の出席状況でございますが、欠席者はおらず、本協議会は有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして、本日の傍聴ですが、申込みはございませんでした。次に、本日のご検討いただく資料等の確認をさせていただきます。

まず、ご持参いただくようご案内させていただいた資料が6点ございます。

(配布資料の確認)

最後に、机の上に置かせていただきました資料が1点、資料2の差替版で、市民企画講座追加申請分を記載した資料2「令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業申請一覧」です。以後、こちらを資料2といたします。

資料は以上でございますが、不足や資料をお持ちでない方はいらっしゃいますか。本日は、府中市男女共同参画の推進についての報告書(案)の最終確認、男女共同参画市民企画講座事業の採点をお願いいたします。

事務局からは以上でございます。諸橋会長、どうぞよろしくをお願いいたします。

【会長】

それでは、次第に従って議事を進めます。まず前回の議事録の確認です。何かありますか。ないようでしたらこれで公開の手続きに入ります。

審議事項(1)「府中市男女共同参画の推進についての報告書」について事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料1をご覧ください。前回、ご審議いただいた内容を踏まえ、修正いたしました。具体的には、5ページの第6次府中市男女共同参画計画の策定について(前文)、63ページの府中市男女共同参画推進状況評価報告書に関する第三者評価について(前文)、65ページの第三者評価の事業項目番号1の提言内容、115ページの第三者評価の事業項目番号70①の評価、140ページ、府中市男女共同参画センターの事業計画及び運営に関することについて。以上でございます。

本日、確定した報告書は、2月12日(水)の午前11時より、諸橋会長、内海副会長に市長へ答申していただきます。

事務局からの説明は以上でございます。

【会長】

何かご質問等がございますか。間違っているところ等ありましたらご指摘ください。修正していただいたところには大きな問題はないかと思います。

【委員】

1ページ8行目に「ご提出いたします」とありますが、「ご」はいらなと思います。140ページ下から2行目「増加していると伺いましたが、」とありますが、「伺いました。」として「が」はいらなと思います。

【会長】

1ページの「ご」は削除してください。140ページは「伺いました。」で切りましょう。

【委員】

目次の1(2)は、ページ番号が58ではなく、61です。

【会長】

(2)は61です。

【委員】

65ページの判定理由及び改善策等の提言の下から3行目、「ヒアリングにおいても」となっていて、「に」が抜けています。

【会長】

ありがとうございます。それでは、こちらの資料で確定し、2月12日に市長へ答申します。

続いて、審議事項(2)「令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業」について事務局からお願いいたします。

【事務局】

それでは、机上に置かせていただきました資料2「令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業申請一覧」をご覧ください。今年度は、10団体の応募がありました。事前に送付しておりますので、各事業の説明は割愛いたします。1団体分、資料の送付が間に合わなかったのも、そちらの分をご説明させていただきます。

(追加申請分 説明)

以上でございます。

本日、委員の皆様には、各事業の採点をしていただきます。採点にあたりまして、参考資料としてお配りした、「令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業選考点数配分表」をもとに、「令和2年度府中市男女共同参画市民企画講座事業選考採点表」に3つの区分の点数に○をして、右側に合計点を記入してください。なお、追加事業については、「採点表」の応募番号10番の欄にご記入ください。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。男女共同参画の視点から審議したいと思います。何かご意見、ご質問はございますか。

【委員】

今年度も実施している団体がいくつかあると思いますので、実績を教えてください。

【事務局】

今年度の実績についてお答えします。今年度も10事業ございまして、来年度もお申込みいただいている団体がいくつかございます。今年度お申込みいただけない団体につきましては、資料2でいいますと、F・I・Jの団体です。今年度の実績ですが、一部まだ終了していない事業もございまして、終了して

いる事業のみお伝えいたします。また、団体は同じでも内容が違うものがございます。1点目、Bの『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～」が6月に実施、受講者は概ね40名程度の参加がございました。2点目、Dの「カラダも心もスッキリ元気教室～心が動く介護予防教室～」は5月と10月に1回ずつ実施しており、40名程度の参加がございました。前後して申し訳ございません。3点目、Cの「パパと一緒にリトミック（子育て支援リトミック）」ですが、5月と9月に実施しており、50名超の参加がございました。

【会長】

「パパと一緒にリトミック（子育て支援リトミック）」はどちらになりますか。

【事務局】

Cですが、今年度実施している事業と対象が違います。4つ目、Gが「絵本と語り～声で伝える物語の世界！～」です。12月と1月に実施しているので、実施結果はまだ届いていない状況です。続いてHの団体で、「マタニティ講座産後クライシスに負けない！！」ですが、15名程度の参加がありました。来年度は「出産育児準備教室」と内容を変えています。Eの団体ですが、「絵本で感じる憲法～ありのままのあなたが大切～」を12月に実施しておりまして、20名程度の参加がありました。なお、来年度申し込みはありませんが、「五感をつかったミラクル体験」を6月に実施して50名程度の参加がございました。続いて「夫婦（カップル）間のコミュニケーション～怒りの感情の上手な伝え方～」については、団体のAになります。内容が少し違うのと、今年度の実施が2月ですので、実績はまだございません。来年度の申し込みはありませんが、「自分を守ろう！目からウロコの護身術！」を実施して25名程度の参加がありました。来年度の申し込みはありませんが、「公開収録ラジオ井戸端会議」が12月にありました。実績はまだ報告されておられません。来年度も継続してお申し込みをいただいている団体は、A、B、C、D、E、G、Hになります。AとDは講座内容を変えておりまして、Cは対象を変えております。Hも若干内容を変えております。

【会長】

ありがとうございます。今年度の実施報告は、新年度に報告が出ますね。他にどうでしょうか。

【委員】

資料2の合計金額の欄は何を合計していますか。

【会長】

団体が出してきた予算の合計です。

【委員】

3万円をオーバーしている団体は、3万円を上限としていますか。

【事務局】

こちらから出せる金額は3万円ということで、あとは団体の持ち出しか参加費を取って実施していただく形になります。

【委員】

Fの団体は初めてなのでわからないかもしれませんが、70名参加で参加費を1人200円取って、14,000円出すと書いてあります。70名来るでしょうか。講師の謝礼に3万円出すように設定されていますが、成り立つのか心配です。市からは3万円しか出さないとご承知いただいているならいいのですが。

【事務局】

募集の段階で、3万円を実施できるものという形で募集要項に記載しておりますので、それ以上出た分につきましては、団体の持ち出しまたは受講料を取っていただくことを前提にお申込みいただいております。それ以外の部分でチラシや郵送料、消耗品等々も入ってきますので、団体の方で工夫して節約して実施されているところが多いです。

【会長】

他はいかがでしょうか。

【委員】

『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～ですが、定員が各回30名とありますが、前回の実績では40名だったと先ほど説明がありました。定員増は可能ですか。

【事務局】

定員各回30名の設定ですが、会議室を想定して設定しています。超えない範囲でしたら可能だと思います。たとえば48名の会議室を予約されていて、30名来られたとして、そこまでは受けられるというところがあります。

【委員】

各回30名は目安ということですか。

【事務局】

その通りです。対応できる会議室を取っていると思います。

【委員】

毎年同様のことを言っているのですが、『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～は、男女共同参画の市民講座として、個人的にそぐわない気がしています。毎年低い点をつけているのですが、皆さんはどう思われますか。

【委員】

私も採点ではDをつけます。そぐわないけれど、この問題は重要です。65歳になって年金生活になり、老後にかかるお金が2,000万円かかるとか、人生100年時代等の議論があります。現在の高齢者がお金を増やそうと少しでも自助で努力をしているのかということ、現実問題、投資信託か株になります。そういう知識を身につけるのは間違いではない。

【委員】

大事だと思います。府中としてぜひやってほしいし、フチャールでやることも私は反対ではないのですが、男女共同参画の市民企画講座として本当に適しているのか。フチャールのあり方、男女共同参画センターと名称変更して、それに合う内容にシフトしていきたいという話し合いをした中で、また今年も私たちがこの講座を選び続けていていいのかという問題提起です。

【会長】

大きな分野ではワーク・ライフ・バランスで、仕事と生活の両立支援となっています。女性も長生きするだろうから、お一人様の老後で、お金のことを考えるというのはジェンダーの視点に関わると思います。いかがでしょうか。積極的に落とす理由もありませんが、付帯理由で出た意見は団体にお伝えすることは可能かと思います。

【委員】

30万円の予算に対して15案件あれば落とすかと思います。たまたま10件なので、落とす理由もないということになります。もう1点、7番「絵本と語り～声で伝える物語の世界！～」について、毎年人気とおっしゃっていて、講座として人気があるのはいいですが、男女共同参画の視点が入っているのでしょうか。私は毎年低い点をつけています。ただ先ほど言ったように10件しかないので、今年も入ると思います。女性センターからフチャールに変更して男女共同参画をやっていくと、主旨に合わないと言って、お断りすべきだと本当は思います。

【事務局】

1点目の『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～』について、ファイナンシャルプランナーの講座というのは、今おっしゃっている視点もわかるのですが、2点目の「絵本と語り～声で伝える物語の世界！～」の方は、子育て支援という視点から、男性が絵本を読み聞かせるという積極的な促しにもなります。絵本や語りを育児されていない方を対象とすることで、地域活動に活かしていける促しにもなります。むしろ必要だということで、男女共同参画センターになる少し前から取り入れてやっております。そのような視点もあるということをご理解いただきたいと思います。

【委員】

すみません。ということであれば私が理解していませんでした。

【事務局】

『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～」ですが、ワーク・ライフ・バランスの位置付けとして捉えておりまして、自分自身どのような形でお金に対して向き合っていけば、これからの人生どのように過ごすのがいいのかということを見つめ直すというところが1つあります。そういった視点をもつことが大事であって、センターの主催講座としても、お金や働き方を切り口としてワーク・ライフ・バランスを見直す講座を実施しています。ワーク・ライフ・バランスの位置付けとして自身を見直すという視点があることをご理解いただければと思います。すべての事業をふさわしいと思って、受け付けております。

【委員】

提案ですが、市民だけでなく市職員の方にも、人数の多い募集の講座にはぜひ働きかけをしていただき、積極的に参加していただきたいと思います。特に70名集まるのかと申しあげた事業には、市職員の方にも出ていただいて、なるべく人数に達するような働きかけをすべきではないかと思えます。9番の「わが子を守る防災講座」と10番「女性目線で考える避難所運営～避難所運営ゲーム～」についても、市職員の方に出ていただいて聞いていただきたいです。

【事務局】

6番の「野村路子氏講演会『テレジンの絵は語り続ける』」については、人権の尊重ということで、人権の担当部局と連携したいと思えます。9番、10番については、防災分野なので、防災の担当部局とどういう形で連携できるか話し合っていきたいと思えます。

【会長】

積極的に市の職員の方に関わっていただき、勉強してもらおうといいと思えます。

【事務局】

9番については、今年度10月頃に中央文化センターで同様の事業をこの団体が行っており、防災部署を講師に迎えて連携して実施した実績があります。10番についても、別部署で企画した事業ではありますが、実際にこの企画を実施したときも、防災の部署が関わっていましたので、連携できる部分があると思えます。9、10番については、市民企画講座としては初めての提案ですが、団体主催事業や他部署と連携している実績があります。10番は防災分野だけではなく、他部署の職員も参加していたことを記憶しております。

【委員】

今回は台風で避難所のトラブルがいろいろあったと聞きますので、ぜひ経験

していただいて、次に対応していただければと感じました。

【会長】

市職員の方が参加しているというのは頼もしいです。絵本の読み聞かせの方も、実績として男性の参加者数を出していただければ意味があると思います。他にありますか。

【委員】

男女共同参画に関する案件なので、全事業の男女別の参加者数を知りたいです。実際に男性の参加者数が少ない事業については、参画できるような声かけ等の対策を考えられると思います。今年度の事業については現在実施中のものもあると思いますが、昨年度の事業について、事業ごとの男性の参加者数を知りたいと思います。

【会長】

新年度に今年度の市民企画講座の実績報告があると思います。その中で参加者の内訳も出ると思います。

【事務局】

一部、男性の参加者数を把握している事業がございますので、ご説明させていただきます。今年度申し込みのうち、男性参加者数は、2番「『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～少子高齢化社会を生き抜くために～」は38名中8名、3番「パパと一緒にリトミック」は延べ受講者53名中37名です。8番「マタニティ講座～産後クライシスに負けない」は14名中7名です。内容が異なりますが、Eの団体の今年度は「絵本で感じる憲法～ありのままのあなたが大切～」というテーマで実施しており、19名中3名が男性の参加でした。

【会長】

どれも一定の男性の参加があり、ゼロはありません。

【委員】

印象ですが、講座の中身はいいと思います。しかし、子育ては女性がやるものだど前提としているような印象を受けます。参加者が女性、母親に限っている。男性が子育てしてもいい時代の中で、対象を女性に限っていきいきと子育てできるモチベーションを高めていく内容になっています。男性の子育てに響くような内容にして、対象を女性限定にしているのは外してもいいのではないのでしょうか。

【会長】

今年度、Cの団体はパパ向けに実施して37名も集まり、令和2年度はママに絞りたいということでしょうか。

【委員】

Cについて変えてくださいということではないです。この先を見据えたうえで取組というのがまだまだだという印象があります。女性が子育ての役割を担っているから女性がいきいきと子育てできるようにという範囲の中に限られています。

【会長】

子育てといえば女性だという印象を持たせかねないというご指摘はその通りかと思います。

【委員】

私もまったく同感で、去年はパパを対象に実施したので、今年はママを焦点にしてとは書いてありますが、せっかく去年はパパが37名も集まったので、今年もパパを中心にやっていただけないかと逆提案も可能ではないでしょうか。ママがだめなのではなく、夫婦で来ていただければいいと思いました。もう1点、8番のマタニティ講座の対象はお母さんだけでしょうか。

【事務局】

こちらは夫婦で育児力をつけるということですので、妊娠5～9ヶ月ごろの妊婦の夫婦ということ。今年度実施した事業も半数が男性参加者です。

【会長】

付帯意見として、Cの団体はパパの参加も促してほしいという意見が出たとしていただき、8番は対象者をもう少しわかりやすくしていただきたいです。

【委員】

Cの団体ですが、今までと同じタイトル「働くママのための子育て支援リトミック」ではないでしょうか。

【事務局】

去年は「パパと一緒にリトミック」です。

【委員】

その前はどうか。

【事務局】

一昨年も「パパと一緒にリトミック」です。これまでずっとパパを対象にやってきたので、今年度はママの方にも働きかけた方がいいのではないかとということで、対象を変更したということです。

【委員】

今までずっと同じタイトルでやってきたので、「働くママのための子育て支援リトミック」というタイトルなのかと単純に思ってしまいました。男女共同参画センターに名称変更したことについて、団体向けの働きかけが弱いのだと思います。フューチャーの登録団体の皆様にも男女共同参画の視点を組み込んで活動してくださいという働きかけが、最初はあったと思いますが、現在は流れのまま

きているところがあって、定期的な働きかけが必要ではないでしょうか。今回の採点は、自分にとって難しいのですが、すでに今までも評価してきているのに、今回評価しないというのはしづらいです。募集するときに定義づけを続けていかないと、こちらも評価段階で弱気になる部分があると思います。定期的な働きかけをしておく、意見が言いやすくなります。昔は「母親学級」だったのが、現在は「パパママ教室」というように「パパママ」が普通に並んでいるので、そのような表記をすすめる等できます。大事なのはこちらからの働きかけが急務のような気がしました。

【会長】

次回募集する際は、男女共同参画の視点をもう少し盛り込んでください、男性を巻き込む事業を求めますと、要綱で強調してもいいかもしれません。今回もそのような意見が出たということの主催団体に伝えることはできます。採択はされたがこのような条件がついていると、事務局から伝えていいと思います。

【委員】

感想ですが、6番「野村路子氏講演会『テレジンの絵は語り続ける』」はナチスのアウシュビッツの生々しい話で、人権以前のテーマを講演会のテーマとするのはふさわしいのか、という感想を持ちました。

【会長】

他にどうでしょうか。

【委員】

内容ではなく、タイトルで参加しやすい・参加しにくいということに影響があるのではないのでしょうか。日頃携わっているイベント等でも、タイトルによっては男子学生が参加しにくかったり、女性学生だけでやっているという印象を持たれたりすることがあったので、最近シビアにみえています。3番「働くママのための子育て支援リトミック」についても「ママパパ」という書き方をしたいです。今までの流れからパパ対象から変えて、今度はママにと考えられて、今回提案されていたと思いますが、今までの流れがよかったです。あえて言うなら「ママパパ」という書き方をされた方がいいと思います。1番「私も行為者？ 身近なハラスメント～しない・させない・見過ごさない～」ですと、「しない・させない・見過ごさない」ということでいろいろな方が対象となり、参加しやすい。実際にハラスメントを受けている人ではなくても参加しようかと思えます。実際にハラスメントを受けていて、自分が受けていることを知られたくない人でも参加しやすいタイトルになっています。参加者を増やして周知していくという面でも、タイトルは重要かと思います。

【会長】

タイトルで集客が変わります。タイトルが一人歩きしますので、「ママ」と謳

うと、固定化しかねません。性別を限定しない、男女共同参画やジェンダーとの関わりを強調するようなタイトルにしてもらおうといいです。6番「野村路子氏講演会『テレジンの絵は語り続ける』」、7番「絵本と語り～声で伝える物語の世界！～」、8番「マタニティ講座出産育児準備教室」のタイトルを工夫していただけるといいと思います。では、時間を少し取りますので採点をお願いします。

【委員】

採点について質問はよろしいでしょうか。評価の点数で、例えば何点以下だと自動的に不採用ということはあるですか。

【会長】

今までそのようなケースはないです。

【事務局】

目安としての足切りは1人平均15点です。本日は12名ご出席なので、合計180点が目安です。その上で、意見の中で、点数は低かったけれども実施した方がよいということでこれまですべての講座を実施しています。

【会長】

申し訳ありませんが、私はここで中座させていただきます。あとは副会長によりしくお願いしたいと思います。

(採点・集計)

【副会長】

それでは、結果について事務局からお願いします。

【事務局】

採点結果を表の順に報告いたします。

1番「私も行為者？身近なハラスメント～しない・させない・見過ごさない～」の合計点数284点、1位です。2番「『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～」184点、9位。3番「働くママのための子育て支援リトミック」260点、3位。4番「カラダも心もスッキリ元気教室～心が動く介護予防教室～」225点、7位。5番「女縁で生きなおす居場所『jikka』とは」226点、5位。6番「野村路子氏講演会『テレジンの絵は語り続ける』」207点、8位。7番「絵本と語り～声で伝える物語の世界！～」184点、同率9位。8番「マタニティ講座出産育児準備教室」245点、4位。9番「我が子を守る防災講座」226点、5位。10番「女性目線で考える避難所運営～避難所運営ゲーム～」271点、2位で、最低ライン180点以下の企画講座はございませんでした。すべての事業で180点をクリアしておりまして、予算の範囲内ですべておさまっておりますので、何もなければこの結果を考慮し、対象事業として決定させていただきたいと思っております。

【副会長】

先ほどご意見で出ていた、タイトルの工夫や対象の拡大といった要望は出せますか。

【事務局】

当協議会として、採用はするけれどもタイトルの変更等はお伝えした方がよろしいでしょうか。

【副会長】

先ほどから議論になっている2番『市民のための知って得するくらしとおかねの1DAYセミナー&無料相談会』～安心した老後を過ごすために～』について考えてみると、老後にお一人様になるという女性が大変多いです。経済的に自立して老後を生きるというのは女性にとっては大変難しい問題です。逆に男性にとっては生活的な自立が問題です。「安心した老後を過ごす」というのは経済的な話をしているわけで、女性の貧困を下げるということに役立つということで、このような講座があってもいいと思います。なぜフューチャーで実施するのかというところを、企画講座を提案する方には意識していただきたいです。タイトルで男女共同参画の視点を入れてもらうような工夫をお願いしたいです。10件の企画講座は決定とさせていただいてよろしいでしょうか。

(反対意見なし)

【副会長】

それでは10事業決定いたします。ありがとうございました。その他に何かございますか。

【事務局】

委員の委嘱期間は来年度もございますが、今年度は、本日が、最終回となります。一年間、ありがとうございました。ここで、市民協働推進部長の堀江よりあいさつを申し上げます。

(堀江部長 あいさつ)

【副会長】

それでは、本日は以上で閉会いたします。1年間ありがとうございました。